

愛有

27号

発行 立校会
福岡女子高等学校
友修会
印刷 印刷(株)
松古堂印刷

令和・新たな旅立ち

令和2年2月25日に「友修会入会式」を母校講堂において開催し、今年度は301人の新しい仲間を迎えました。

式では、江藤淑子会長が新会員たちへ歓迎の挨拶を述べ、篠島賢次校長が巣立っていく生徒たちへ祝辞を述べました。

新会員を代表して、中村友香さんから「3年前の4月、期待と不安を胸

に入学しました。今、ここにいる301名の胸の中には沢山の思い出が詰まっています。充実した高校生活を送ることができたのは先生方のご指導と先輩方の温かいご支援があったおかげです。

時代は「平成」から「令和」へ移り、令和最初の卒業生として、それぞれの夢に向かって歩み始めます。

卒業後は、誇り高き友

歴史を重ね新時代へ

会長 江藤 淑子



全国の友修会会員の皆さま

まことにちは。2020年がはじまってから、新型コロナウイルス感染症が広がっていますが、皆さまにはお変わりなく過ごされていること存じます。私たちの福岡女子高等学校は、今年創立95周年を迎えます。そして友修会は1948年から72年間、母校とともに歴史を積み重ねてきました。現在、友修会には全国に2万3千人を超える会員がいます

が、3月1日に301人の新しい会員を迎えました。友修会の目的は同窓生のつながりを強めること、そして母校の発展に協力することです。そのため、毎年総会を開催するとともに、機関紙「愛有」を年に2回発行しています。今年創立95周年記念総会に向けて、すでに5学年の当番年次の方々が活発に活動してきました。しかし、皆さまもご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年の総会には中止することといたしました。大変残念ですが、来年お会いしましょう。

在校生の皆さんも、朝の「運針」からはじまり、放課後のクラブ活動まで真面目にそして真剣に取り組んでいる様子が見えます。2019年は7年ぶりに東菜女子高校との交流が復活して30人が来福され、ホームステイ等で交流を深めました。同じ学校を卒業したという、ただそれだけの繋がりをさらに強く大きくしていきたいと思えます。そして未来を生きていく若い人たちの拠り所となるよう、また母校の100周年やさらなる歴史の積み重ねに向けて前進していきたいものです。皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

修会の一員として、先輩方とともに母校の伝統を支え、さらなる発展と、来たる創立百周年に向けて、福岡女子高校を盛り上げていくことを誓います」と決意の言葉を述べました。友修会に加わった若い力に頼もしさを感じ、今後の活躍を見守っていきたいです。



希望の種は、愛宕浜にて花開く

第30代校長 篠島 賢次



友修会会員の皆様には、日頃より本校教育の充実発展のために、母校並びに後輩に対し、一方ならぬご支援を賜り、誠にありがとうございます。

学校を代表しまして、心から御礼申し上げます。

私にとりまして、本校に着任し、お陰様で4年目の春を迎えることができました。

本校は、これまでの95年の歴史と伝統を礎とし、こ

こ愛宕浜にて『令和』の時代を迎えました。元号『令和』に込められた意味合いから、たとえ人生を歩むうえで厳しく辛い時期があつたとしても、それを乗り越えたならば、次は必ず希望の花開く「春」を迎えることができます。

「冬来たりならば春遠からじ」。どんな時も希望を忘れずに、歩み続けていきたいと考えています。

そのためには、校訓である「自立・共生・創造」を、

ひとりではなせる
ひとつになれる
ひとつをつなげる
〈自立〉
〈共生〉
〈創造〉

友修会関東支部総会

関東支部長 藤田 彌生



開催しました。

当日は篠島校長先生、江藤会長、河村副会長、又、今回は太刀川、石田両顧問もご一緒に出席下さり、大きな華をそえて下さいました。

お忙しい中、出席下さいました篠島校長先生は、ビデオ機器持参で学校紹介して下さいました。新しい校舎を知らない方もいたので、喜んでいらっしやいました。

皆様のお話に、皆楽しそうに聞き入り、特に太刀川顧問の日本女子大入学のお話を初めて聞かせ

て頂いたり、石田顧問が女子校へ入学された時や友修会の成り立ちのお話など、詳しく教えて頂きました。本当に素晴らしいお二人に、三十三年間、友修会を率いて頂いたことに、心よりの感謝を申し上げます。

おいしいお料理と近況報告、うんうん、そうそうと聞き入り、話の花が咲き、あつという間の二時間でした。

また、再来年の約束をして、美しい歌声の校歌斉唱で締めくくりました。

最後に、いつも出席下さる方に心よりのお礼を申し上げます。

友修会事務局

〒819-0013 福岡市西区愛宕浜3丁目2番2号
福岡市立 福岡女子高等学校セミナーハウス内
TEL/FAX 092(882)1858
常駐日/火水木曜日 ◆関東・関西にも支部があります

友修会専用ホームページを開設
<https://yushukai.jp>

スマホの方はこちら▶

住所や名前の変更の際は連絡してください。



総会中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、今年度の友修会総会・懇親会は中止といたします。

何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。



あのときの私&いまの私

先生お元気ですか

「ビバ・ラ・ビダ」

ソフトボール部の思い出

「ビバ・ラ・ビダ」は、2018年に発売された五木ひろしのヒット曲。スペイン語で「人生万歳！」「生きてるっていいね！」という意味です。五木ひろしは、最近軽快なリズムのポップス系にも挑戦し、いつまでもヒット曲をめざす姿勢が天晴れ、尊敬する人物の一人です。

私は昭和51年から平成4年まで16年間、福岡女子高校でお世話になりました。

当時は私学が台頭し、ソフトボール部員が集まらず、部員確保に苦労しました。それでも部員は日頃の厳しい練習を乗り越えて、仲間と喜ぶ姿に何度も感動しました。特筆すべきは初心者者が

理科教諭 面高 孝治

デビュー戦の練習試合で、初ヒット。あたかもサヨナラホームランを放ったかのように部員全員が大喝采でした。

また、県大会出場（昭和51年）のご褒美がありました。保護者の方が戦績に感動して、対馬での合宿に招待してくださいました。

平成元年卒・担任団集結

昨年佐々木先生の古希



祝と椎原先生の校長昇任祝いを兼ねて、「旧学年大会」30周年祝いの写真会を開催しました。

あれから30年。この担任団は平成元年から毎年

1〜2回集結しています。現在自治会活動に励んでいます。毎年10月に校区体育祭（13自治会の参加）があります。

先生愛溢れるクラス会

少子・高齢化が進む中、参加選手を募るのは大変です。昨年は、毎年1回戦

ボーイ的種目「綱引き」で、予選突破し、決勝トーナメントに進出し、見事3位に入賞しました。応援席のテントは、歓喜の地響きで大きく揺れていました。「ビバ・ラ・ビダ」

私たちは昭和59年普通科8組卒です。

卒業して何回かクラス会をしました。長いブランクののち、8年前より年に1度のクラス会を開いています。

私たちは1・2年生は須崎先生、3年生で前場先生に担任をしていただきました。

前場先生は1年間だけだったにも関わらず、前場先生愛溢れるクラスで

したので、先生も私たちの愛に答えて下さり、毎年クラス会にも参加下さっています。当時、服装チェックが厳しかった白石先生も毎年参加下さり、佐々木先生や面高先生にもイレギュラー参加いただいたり、会はいつも25名程で盛り上がりま

す。また、今年は校歌を皆で歌おう！と企画し、友修会ご協力のもと、会場



に校歌を流しました。

「来年の同窓会を楽しみに明日からまた頑張るよ！」の声が、幹事の私達もまた励みになっていきます。

食を大切に

昭和54年 食物科卒

最所 仁美 (旧姓：木村)

在学中の思い出は？

勉強は苦手でしたが、専門学科の勉強はとても楽しくて、好きでした。調理ノートは大事にしています。結婚してからとても役立ちました。

部活で、1年は登山部、2年は剣道部に入部しましたが、5分位の遅刻を時々して、先生に叱られ体育館を走らされた事もあったな思い出します。

あなたの近況は？

娘が二人とも福岡女子高校出身です。在学中はPTA活動を6年間させて頂きました。母校に関わることが出来て嬉しかったです。今は惣菜の仕事をして

います。食品衛生責任者として調理師免許が役に立っています。

今年で還暦を迎えますが、65才までは働く予定です。楽しい老後を夢みて貯蓄。(笑)

美術部とプロレス！

昭和55年 普通科卒

井手 和美

私の高校時代の思い出は、美術部です。夏休みには合宿があり学校に泊まり込み、美術部などの運動部のように愛宕山までランニングしたり、作品制作のあいだには、お菓子を

買ってきてお茶会したりしていました。遊びも、男子がいなくても、馬乗りや、凧揚



左が私

は、妙に気恥ずかしくなりました。現在、親の後を継ぎ、唐

のジャッキー佐藤に似てるから結構人気あるよ」と言われてびっくり！運動部のカッコいい先輩を下級生が見に来るのは知っていましたが、美術部の自分がその対象になるとは、妙に気恥ずかしくなりました。

なんでも楽しむこと

平成11年 食物調理科卒

西田 忍

人町商店街で井手文具店をやっています。中学や高校の同級生がアルバイトに来てくれます。ホークスが優勝した時にはセールもやっています。他にも懐かしい文具や最近の文具まで色々あります。

近くにお越しの際は、ちよっとのぞいてみてください。料理・ワイン・サービス。フランス語など、何歳になっても新しいことを学び、できていく過程はとっても楽しいもので、女子校で日々、先生方に学びワクワクしていた頃を、最近よく思い出します。

卒業してはや21年。この度ご縁があつて、友修会の年次当番としてお手



編集後記

この春、巷では新型肺炎騒ぎで様々な自粛が求められましたが、幸いに入会式は通常通りの形式で行うことができ、初々しい新会員を無事迎えることができました。

母校は今年、5月に95周年を迎えます。祝意と共に改めて、これまでの先輩方の足跡に習い、同窓会としてのありようを模索しながら、望みを未来に繋げてゆかねばならないと思います。

しかし、本年度総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員の安全を第一に考え、残念ながら中止となりました。来年は笑顔で会えるよう、皆さまご自愛下さい。

令和元年度 卒業生進路状況

令和2年2月28日現在

4年制大学	51人
海外留学	4人
短期大学	68人
専修学校	114人
就職・その他	47人